



堀場製作所OB会

会報

通巻43号

発行日 平成30年1月31日

発行者 堀場製作所OB会

酒井 俊英

編集者 伊藤 哲

◆2017年第22期年次総会より

- ・会社近況報告 堀場 厚社長
- ・年次総会概要
- ・講演「エンディングノート作成について」
- ・講演「京都企業OBの元気シニア活動状況」
- ・懇親会

◆HOVC活動 ボランティア部会

- ・祇園祭ごみゼロ大作戦ボランティア
- ・鴨川納涼ボランティアの参加報告
- ・鴨川クリーンハイクに参加して

◆レジャー例会

- ・花山天文台見学
- ・あべのハルカス「北斎展」見学

◆OB会行事報告

- ・ブルーベリー摘み体験に参加して
- ・ファームコットン(綿)摘み体験会報告
- ・夏の懇親会……………京都

◆クラブ活動報告

- ・山遊会
- ・ボウリングクラブ
- ・カラオケクラブ
- ・東京ゴルフクラブ
- ・ゴルフクラブ
- ・釣りクラブ

◆OB会だより

- ・堀場OB会ホームページ紹介
- ・新入会員紹介
- ・年間行事計画について
- ・会報、ホームページへの寄稿について
- ・OB会入会手続きについて

◆2017年下半年会社ニュース ピックアップ

◆編集後記



「現世極楽浄土は、京都東山即成院にあり」

今年の干支は、戌。真言宗の御寺泉涌寺の塔頭である即成院(そくじょういん)に二匹の犬が置かれています。弘法大師が真言密教の霊場にふさわしい場所を高野山と決め、その場所に案内したのが狩場明神の二匹の犬だったといえます。浄土信仰が盛んだったころは、阿弥陀如来に導かれて浄土に行くことが人々の願いでした。この即成院は、阿弥陀如来を本尊とし二十五菩薩を従え「現世でも極楽、来世でも極楽」を叶えるお寺です。現世において極楽な時をいただける手形と、来世において極楽浄土へいざなっていただける通行手形があります。各々3千円です。また、入口門の上には鳳凰が鎮座し、那須与一とも縁の深い古刹で楽しく心穏やかに参拝できます。

(中村 十規人 記)

第22期年次総会より

会社近況報告

堀場 厚 社長

年次総会の開催おめでとうございます。

さて、新聞発表や先ほどご紹介もありましたが、来年2018年1月1日に、HORは、社長を交代し足立正之社長の下で新しい体制となります。私自身は、グループ全体のCEOとなり、現副社長の齊藤氏はグループ全体のCOOでグループ経営を見ていくこととなります。半導体市場等が急拡大成長していく中で、競争の原理を働かせ、足立新社長にはグループ会社の1社として経営を任せ、手腕を発揮していただくこととなります。従業員の7割が外国人、売上の6割以上が海外を占めている中、実行部隊の責任を明確にし、ガバナンスを含めてきっちりと対応していきたいと考えています。

自分が社長に就任した1993年の業績として売上は350億円、現在は、1,800億円と5倍以上に拡大しています。リレー競争と同様に最もスピードが上がっているときにバトンタッチしたい、というのが私の思いです。社長になって、25年、期間的に4半世紀が一区切りとなります。

さて、2017年1月から最近までの会社トピックスを写真で紹介していきます。

1月は、HORの創業製品であるpHメーターを含め、液体計測事業をHATに集約し、スタートさせました。従業員250名を超える体制で、売上200億円を目指しています。この結果、利益の良いPH等の製品群がなくなって、HOR科学の部隊がこれから自力で戦わなければなりません。また、皆さんの馴染みのある2,3,8号館の解体式を挙行いたしました。

2月には、STEC阿蘇工場拡張のための起工式を行いました。

経済産業省から健康経営優良法人として認定していただきました。業績を上げながら、社員の健康にも配慮する活動を地道に継続している結果を評価していただいたものと思います。

5月には、HKの新社屋が完成し、起工式を行いました。韓国市場は、現代、サムソンなど非常に大切な市場です。SKLも新工場稼働を開始しています。韓国でのオペレーションは一体化していますが、特に、SKLは半導体分野で大きく貢献しています。



同じく5月には、E-HARBOR竣工1周年イベントが開催され、大津に移ったホリバリアンがシンボルマークを人文字で表現してくれています。工場見学者は1年足らずで5,000人に上り吉祥院の見学者をはるかに超えてきています。見学者は、ユーザーのVIPクラスが多く、淀みのない生産ストリーム、協力会社との関係など注目されています。投資を決意した5年前は1US\$=89円と円高でしたが、現在は115円と円安になっています。どのタイミングで投資を決定するか、ユーザーに対する供給力を増強させたことにより追加発注を頂くなど好転しています。経営は、タイミングの良さが非常に重要になっています。また、単なるサプライヤーから重要なパートナーとしての立場となり、ユーザーにとって重要な役割を発揮するようになりました。単に製品性能や価格面だけではなく、事業のオペレーションそのものを評価されるようになってきました。

7月は、グループ洛楽会としてフランス・イギリスの研修旅行を実施し、現地の独自のビジネスやマネジメントの状況などを見学していただいた。5年に一度は海外で研修旅行を行い、共同体としての認識をさらに深めていただいています。

(次ページに続く)

同じく7月にイギリスMIRA社で新しく試験センターを開設しました。EU離脱問題で揺れるイギリスだが、投資を継続しています。買収後に40億円近くを投資し、買収額の160億円と合わせると総額200億円の投資となっています。MIRA社は、自動運転技術やバッテリーチェックなど自動車関連の幅広い技術を持っています。排ガスやセキュリティ技術などを追加してトータルビジネスとして展開しています。ジョージ社長とは10年前買収したドイツのシエンク社の元幹部で、個人的信頼関係も厚い。

8月には、MEXA-7000の最終出荷式を感謝の念を以て感慨深く行いました。

9月にはテキサス・ヒューストンは大きな洪水がありました。我々の環境計測事業の新工場は幸いにも被害はありませんでした。ラッキーでした。ブラジル子会社では同月に20周年の式典を行いました。ブラジル レアルの為替の問題はありますが、旅客機を作れる技術など非常にポテンシャルのある国と考えています。

HTW(台湾)の移転セレモニーも開催しました。STECを中心に半導体市場向けなど好調です。台湾では製品のセグメント別に都合の良い販売チャンネルをバラバラと作ってきましたが、今後はHTWを中心にうまく機能するように改革していきます。E-HARBOR移転により技術の遷宮を行うことによって、技術の継続性や積み上げが大切なことが認識され、大きな会社のテーマに定着してきたことが非常に良かったと考えています。



最近技術の潮目が変わってきて、技術開発のスピードが一段と速くなり、それとともにグローバル市場に迅速に対応していくことが何をおいても必要と考えています。会議などで意思決定する方式から即断即決をしていくシリコンバレーのタイプに移行しないと大きく差が出てきます。ここ2,3年で変革できるかが事業の勝負であると考えています。

最後に、社外の会議で、次のように声を掛けられ、たいへんにうれしく思いましたので報告しておきます。「堀場製作所OB会の方々が鴨川クリーン活動にボランティアで貢献されています。素晴らしい会社ですね」と。これからもお元気でOBとして社会貢献をよろしく願います。(抄録)



第22期年次総会・懇親会から

第22期 年次総会概要

第22期 活動計画 2017年10月26日総会にて承認

運営方針：キャリアを活かして社会貢献を強化(継続)

サブテーマ：堀場グループOB会の実現に注力

2. 定例行事：

- 懇親会・・・年2回4月21日・9月15日を予定
- レジャー例会・・・2～3回
11月15日(水)北斎展!決定
- 一泊研修旅行・・・2月2日有馬温泉行を予定
(豊臣秀吉研究)
- ブルーベリーファーム

綿摘み体験を11月7日実施予定

ブルーベリー摘み(7・8月)

- キャリア・ボランティア部会(=HOVC)

◆生き方探求館への京モノレンジャー活動

◎「世界に一つの温度計」に次ぐ

「新テーマ」への挑戦

3. 会則改正の件

- 堀場製作所OB会会則改正

◆グループ会社のOB会発足に向けて

①グループ会社OB会(HORIBASTEC)の結成サポート

※2018年1月発足予定

②HTSの場合、堀場製作所OB会に個人として参加を希望

※会社補助金の分担についての協議が必要

③HATについては、検討中。

④グループOB会間の交流、イベント共同開催等の規則追加等

この総会には間に合わず。期中に改正を提案・実施していく。



- 入会金をゼロにする事を提案・承認。
OB会入会の敷居を高くしているとの意見から出来るだけ、会員増に向けて入会し易くする

4. クラブ活動

- 芸術分野のクラブの発足を!サポートします。イニシアティブをお願いします。

- 活動の活性化を図る為、補助金を増額

- カラオケ同好会をクラブに昇格

5. 一般会務

- 会員の増加に向けた努力する

- 各行事への会員の参加人数を増加

- 会報とホームページの円滑な運営

- グループOB会結成への支援・対応

- 定例会社連絡会議の継続的開催

- 幹事の世代交代の準備

以上



講演「エンディングノートの作成について」



講師 京都SKYセンター次長内山貴美子氏
なぜ、エンディングノートを作成する必要があるのか？

独居世帯の増加、医療・介護・葬儀の多様化のため、終活として情報の整理、残された家族のために作成しておく必要があります。多くのエンディングノートは自分史部分のスペースが多く、そこで、書くのが止まってしまうことが

あります。書けるところから書いていくことが大切です。平均寿命と健康寿命で約10年の開きがあります。10年間をどうしていくかの意思決定や情報の整理が終活作業です。病歴欄は、細かく書くことが必要です。家族の病歴、祖父母が何歳で亡くなったのか、長命だったのかを書いておけば、医者が参考にできます。意識がなくなったときに治療の仕方、延命処置をどうするのか本人の意思を書いておけば家族が助かります。

エンディングノートは、遺言書とはならないので、注意が必要です。遺言書は相続のため公正証書として作成しておくほうが手続きがスムーズに進みます。また、エンディングノートを作成し家族に所在を知らせておくことも必要です。パソコンやカードのパスワードなども時代の変化に伴って書くことが変わってきています。老人ホームについては、元気なうちに見学などをしておくことをお奨めします。何年も待たされるし、入所した後にイメージと違ったという事があります。成年後見制度として、法定後見と任意後見があるので、制度として覚えておいてほしいと思います。(総会時講演・抄録)

講演「京都企業OBの元気シニアの活動状況資料」 京都シニアベンチャークラブ連合会 船越

当日説明資料から抜粋しています。

NPO法人
京都シニアベンチャークラブ連合会



**京都企業OBの
元気シニアの活動状況**

堀場OBベンチャークラブ HOVC

HOVCは平成11年KSVUに入会
○会長 中村 十規人・・・KSVU理事
○幹事 酒井 俊英・・・KSVU幹事
HOVC登録会員数 54名 人材登録数≒20名

★HOVCのKSVUでの活動状況★

- 中小企業の『困った』の支援活動
- 省エネ研究会・・・省エネ節電EMS診断事業活動
- 京都モノづくりの殿堂・工房学習
- 『京モノレンジャー』教育支援活動
- KSVU講演会・見学会 5回/年への参加
- ボランティア活動への参加
- その他

HOVCへの参加はOB会事務局へ

企業OB人材に・・・元気シニアの皆さんに！

- 元気だから働いているのではない。
働いているから元気でいられるのだ。●

企業OB元気シニア・生涯現役の6つのポイント

- ①新しいことに挑戦し続ける。好奇心を失わない
- ②頼まれたことは何でも引き受ける。断らずに、ホイホイ引き受ける
- ③自ら仕事を見つけて働く。気になることが出たら、すぐに調べる。
- ④昔の話は聞かれない限りしない。後輩のお手本になる。
- ⑥身ぎれいにしている。
- ⑤自分のスタイルを大事にする



高齢者雇用が企業を強くする 法政大学 藤村 教授

○中小企業の皆さん何か困ったら
京都シニアベンチャークラブ連合会の
元気シニアにまずご相談を！

**○企業OB・元気シニアの皆さん
堀場製作所OB会の皆さん**
(60歳から65歳～75歳の専門知識・経験者)
**京都シニアベンチャークラブ連合会に
一度ご連絡をください！**

ご連絡先 NPO法人 京都シニアベンチャークラブ連合会 (KSVU)
Tel 075-315-6639 MAIL info@ksvu.or.jp
詳しくはホームページ://ksvu.or.jpをご覧ください

総会 懇親会



HOVC活動 ボランティア部会

祇園祭ごみゼロ大作戦ボランティア

今年も祇園祭ごみゼロ大作戦に参加しました。場所は新町・綾小路。時間は15日21時から23時。参加者は、秋山、笠川、北川（初参加）、池田、中村（十）、中村（正）、森山、酒井（敬称略）。このシフトは最終なので、22時30分頃から、周囲のステーション撤収の作業と自分たちのステーションの店じまいの作業が有り、23時ちょうどに解散となった。朝の10時から活動している女子大生のボランティアリーダーは真夜中を越え



て1時まで活動するそうで、頭が下がります。若いと言うことは、素晴らしい。賑やかな人通りばかりが目立つけど、陰で多くのボランティア等で、この祇園祭が支えられている事を皆が知って欲しい。ともかく無事に終わって、お疲れさんでした。（酒井 俊英 記）

HOVC活動 ボランティア部会

鴨川納涼ボランティアの参加報告

8月5日（土）、6日（日）の両日、夕方5時から9時（6日は8時30分）までの間で、恒例の「鴨川納涼」イベントが開催されました。OB会は今年も交通整理のボランティアとして参加しました。

5時前から空には暗雲が立ち込めて、予想した通り5時半頃は夕立に見舞われました。大粒の雨で、来場者は慌ててテントに駆け寄り雨宿りをするようになりました。暫くして雨も上がり、元の賑やかな人通りになりましたが、1時



間ほどしましたら、又もや、夕立の再来で避難を繰り返す事になりました。

今年は両日も体温と同じかそれ以上の暑い日が続きましたが、今年も無事に終わる事が出来ました。

参加者（敬称略）

5日石黒英憲、森山晶成

6日中村正博、酒井俊英（記）

鴨川クリーンハイクに参加して

「鴨川を美しくする会」主催、平成29年度第4回鴨川定例クリーンハイク（2017.11.5）は、中村正博さん、三橋泰夫さんと秋山重之の3名が参加した。午前10時に北大路橋右岸西詰河川敷に集合し、事務局の注意事項、副知事及び協賛者代表の挨拶の後、全員がゴミ拾い道具を持って、A（右岸北進上加茂橋南下）及びBグループ（北大路橋左岸南下）に分かれて出発した。我々は、Aグループのしんがりを務め、朝方は薄曇りであったが、出発時点では絶好の秋晴れになった。途中、目立つゴミは殆どなく、周辺の苧込の空き缶や芝地の枯れ枝等を回収した。目を川岸に向けると上流由来の漂流物と思われるプラスチックごみ（シート状、発泡スチロールなど）が流木や枯草に引っかかっているものがあつた。季節は晩秋に入り、周辺の景観の紅葉はまだ早く、身近にある生垣では季節外れの小花が秋の陽だまりで清楚な雰囲気を見せてくれた。秋のクリーンハイクならのご褒美でもあ

る。今回のトピックスは、大手企業の特別協賛（カラープリントベストの全員に貸与）、参加者数の増大（三百数十名）が印象的であつた。また我がチームのMさんが道路端の立て看板に額が当たり負傷するというアクシデントがあつた。今回のように、河川敷のゴミ清掃は、家族連れや老いも若きも大勢の人々が集まるので、単に河川敷のごみ拾いという安易な行動パターンでは安心・安全が保たれない一面でもあつた。今後、野外の自然環境でのボランティア活動は、予期し得ない危険があることに留意すべきと反省した1日であつた。（秋山 重之 記）



レジャー例会

花山天文台見学

2017年9月30日

京都市観光協会の「第42回京の夏の旅」キャンペーンで、文化財特別公開の中、京都大学花山天文台の見学が記載されていたため、この企画をレジャー例会としました。

簡単なノリで幹事会に提案したところ、開催するよというので、昼食なし、半日コースで開催することになりました。出席者は13名、地下鉄蹴上駅に10時に集合し、タクシー4台に分乗し、花山天文台へ行きました。

花山天文台は日本で2番目に古い天文台で、反射式ではなく屈折式45cm望遠鏡が備え付けられていました。屈折式では現在でも日本で3番目に大きいものだそうです。入った途端、昭和の異空間に入った感じがしました。すべてがアナログ、歴史的価値、骨とう品の価値のある天文台でした。今ではコンピュータが星を追尾するのに対し、モータ追従でもなく、重力式といって、おもりが落ちることを利用したもの、当然手動で目的のところへもっていかなければならず、また望遠鏡の向きを大きく変える際はひも

で引っ張る、といった具合です。また頂上からの展望が良く、西側は清水寺の森、東側は山科の市街地が広がっていました。何か歴史的な文化財を鑑賞したレジャー例会でした。

帰りは、シャトルバスに乗り東山駅まで行き解散しました。

出席者（敬称略）

平田 治義、下川 博司、倉原 政治、野口 進治
ご夫妻、村田 敏幸、中村 十規人、石黒 英憲、
川尻 茂樹、西尾 勝治、萩原 孝一、
中村 正博、三橋 泰夫 （三橋 泰夫 記）



あべのハルカス北斎展見学2017年11月15日

大阪のあべのハルカスで60階の展望フロアから初めて大阪の広い街を見ました。今回、フォトクラブの撮影会も併せて開催されました。その後、13階のレストランでランチバイキング。更に16階の美術館での、浮世絵師、葛飾北斎の展覧会に行きました。昼食を終えて、1時に美術館前に行ったら長蛇の列で、待ち時間1時間30分と言われました。仕方なく時間を潰す事になりましたが、2時頃に我慢できなくなって、行列の最後尾で、整理員に猛抗議。「チ

ケットを午前中に購入した時に、こんなに待たされるとは聞いていない。何とか早く入れて貰えないか」と文句を言っている間に、2時10分頃に2時30分の整理券の所有者を整列のラインに入れ始めた。結果的に少しは要求を聞き入れてくれた感じ。北斎の還暦以降の90歳代までの作品が約200点以上が展示されていた。

これだけの作品が一堂に会する事は、この後もうないかもしれない。多くの作品は、大英博物館に保存されていて、超有名な「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」はゴッホや、モネに影響を与えたと言われている。北斎の超高齢での作品のエネルギーは、壮絶と言う外は無い。その波しぶきに北斎の怒涛の様な情熱を感じた次第でした。

（写真提供-笠川 重美氏）（酒井 俊英 記）



行事報告

ブルーベリー摘み体験に参加して



昨年からは始まり今年では2回目、実施日が8月3日と10日に決まりました。3日申込みの6名は全員JRで安曇川駅に集合しました。昨年の参加者も居ましたが私は初めてで、乗合タクシーで農園へ行きました。農園の地形は比良山系の最南端で、湾曲した安曇川の右岸に近く、200m程度の広い台地で安曇川の古い三角州段丘のように思われます。ソラノネ食堂で荷物を預け、熱中症対策をしましたが、今日は曇り空で日差しはなく最適でした。場所は南に伸びる農道の東側で、軽トラで道具を運びました。ブルーベリーの木は1.5mほどの低木で、枝も多く青・赤・黒と多くの実が混在し黒く熟した実を採取しますが、3から4本の木で予定の2kg以上になり、1時間少々で終了しました。広いので品種ごとに植えられています。昨年の報告と同じように、500g頂き後は買います、おいしい昼食をテラスで食べ、14時前の乗合タクシーで帰京しました。農園周辺の住宅は少なく、ソラノネ食堂には他の家族たちも来ていて、昼食の室内は満席でした。テラスからの南方向の眺めは非常に良く、庭に1本イチョウの高木がありそして、ブルーベリー農園の後ろ遠くに、スキ-場もある902mの蛇谷ヶ峰が大きく見られます、北方には箱館山・マキノスキ-場があり、この地の冬は風が強くて寒そうです。参加者 西尾、石黒、中村十、森山、竹内、萩原 (萩原 孝一 記)

②今年の実施日は8月3日と10日でしたが、その10日の報告をします。幸い天気は曇りで、時折り小粒の雨が落ちてくる状態でした。11時集合して、職員の松山剛士さんの説明を受けて、摘み取りを開始。プラスチックのトレイに濃紺色に熟した実を摘まんで入れるだけの作業でしたが、足場が安定しないのと、暑いとで、結構しんどい作業でした。この作業をロボット化するの、やはり難しい事が多いと感じました。

約1時間程の摘み採り作業を終えて、トレイの重量計測。そのトレイから持帰り分の500gを頂きました。その後、お楽しみみの昼食を頂きました。メニューは写真の2種類です。さらにブルーベリージュースが付いて、清々しい空気の労働の後の昼食は本当においしく頂くことができました。

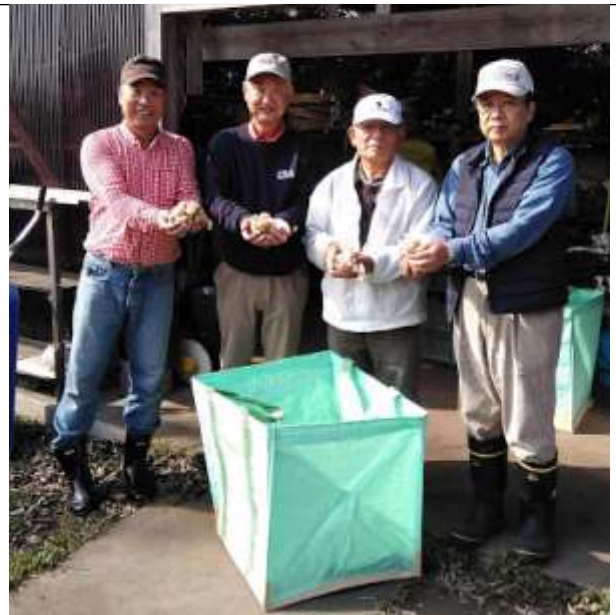
今回の参加者は、西田御夫妻、下川御夫妻、中村勝美ファミリー（御夫妻と御子息、及びお孫さん）、森山さん、酒井の10名でした。お土産に、ジャガイモを10個づつ頂いて、帰路に着きました。広々とした緑に包まれたソラノネファームは、お勧めです。皆さんも是非、参加されることをお勧めします。

(酒井 俊英 記)



ファーム・コットン（綿）摘み体験会報告

暦では冬の訪れを感じる「立秋」でしたが、暖かい秋空の下、HORI BAファームで綿摘み体験をしてきました。5月から始まった綿栽培は、多くのホリバリアンや新入社員の尽力で3度の台風飛来にも耐え、コットンボールを数多く付けていました。後工程に配慮してゴミの混在に



注意しながら、あっという間に1時間が経過。数多くの綿を摘み取ることができました。摘み取った綿は紡績～紡織を経て来春にはHORI BAファームブランドのコットン製品になる予定です。参加者：酒井、中村（十）、森山、沢本（敬称略）

（沢本 昌順 記）

夏の懇親会開催報告

2017年の夏の懇親会は、9月16日（土）18時より例年どおり「がんこ高瀬川二条苑」で行われました。総勢39名、会社からは山下氏を迎え、新入会員として誉田氏、酒井寛氏を迎えました。

乾杯の音頭を内山氏に取ってもらい、会社の近況報告、新入会員の自己紹介、そして締めは土肥氏にて行われました。皆さん元気で盛況な懇親会でした。

（三橋 泰夫 記）



クラブ活動報告

山遊会報告

堀場山遊会 例会報告

平成29年9月4日作成<第50回>

創部10周年記念特別例会

年月日 平成29年8月28日(月)~30日
(水) 晴

山行先 唐松岳(2,696.4m)

参加者 下川 和子・下川 博司・倉原 政治・
宇野 久仁男



創部10周年記念と例会山行50回記念を兼ね唐松岳山行を計画。28日午前7時30分京都駅前に集合し、京都東から名神高速道に入り、12時過ぎ安曇野ICを出た。途中で昼食を済ませR147を北上、14時頃JR白馬駅からゴンドラ乗り場へ。無料駐車場に車を止め、5分ほど歩いてゴンドラリフトアダム八方駅で往復¥2,900。(有効期限3日)の乗車券を購入。小さくなってゆく八方の街並みに見入っている間に兔平駅に。さらにリフトを2つ乗り継いで標高1,850mの村営八方池山荘に到着した。チェックインを済ませ、16時から入浴、18時夕食とのことで周りを探索。ウメバチソウ、シモツケソウ、ハクサンシャジン他夏の花もまだまだ健在、白馬三山をカメラに納める。当初は7月初めを予定していたが、今年は積雪が多く軽アイゼンが必要と判断し、8月3日出発で計画。結果参加者4名となり、宇野さんの提案でマイカー利用に変更した。また、直前の天気予報から延期を決断、今回ようやく実行に移せた。夕食後は明日に備え20時30分就寝。翌

29日は日の出が5時15分とあり、外に出るが雲が多く、雲間が赤く輝くものの今一つ。遠くに妙高山、火打山が望めるが、振り返れば白馬三山の頂上付近は雲に覆われている。6時から朝食、7時に山荘を出発し、よく整備された木道を歩き8時丁度八方池を下に見る。池を巡り登山道に戻って8時30分次の目標である丸山ケルンを目指す。ケルン手前標高2,300m付近の扇雪溪で今回何枚目かの集合写真を撮る。9時55分丸山ケルンに、10時55分唐松岳頂上山荘に着いた。チェックインまでは時間があるとのことで、食堂にザックをデポし、弁当とウインドヤッケのみを持って山頂に向かい11時40分到着。雲の動きが速く、五竜岳・不帰嶮・白馬三山の山頂は見え隠れが激しい。記念撮影を済ませ、風を避けて昼食とする。ほどほどに下山してチェックインする。部屋は別棟の蚕棚で、通路を挟んで両側に2段続いている。今日は宿泊客が少ないと予想され、1区画10名の所に我々4名が割り当てられた。他の区画も似たようなもので、結局上段は利用者無し。18時からの夕食まで何もすることがなく、飲食禁止の部屋だが、敷布団を隅に押しやって、ウイスキーを飲みながら談笑にふける。夕食を済ませ20時に床に就いた。天候が少し危うい。翌朝は風が強く、雨が吹き付ける。6時10分朝食、7時20分完全武装で出発。山荘の裏手から岩山を回り込んだところからは、風もなく雨も小降りとなる。7時55分丸山ケルン、雨の心配はなくなった。雪溪を横目に樹林帯を抜け9時10分八方池を見下ろす地点まで帰ってきた。池へは寄らず、第三ケルンで小休止のあと10時20分八方池山荘に着いた。リフト・ゴンドラを乗り継ぎ11時駐車場に、みみずくの湯を紹介され山の汗と疲れを落とす。国道沿いの道の駅で土産の調達と昼食を済ませ車を走らせる。途中渋滞にも合わず、事故もなく19時丁度京都駅で解散した。

(下川 博司 記)

山遊会②

<第52回> 例会山行

年月日 平成29年12月16日(土) 薄曇り
山行先 箕作山(372m)・太郎坊山(350m)
参加者 下川 和子・高橋 義治・
下川 博司・橋口 純男・加藤 順三

当初7名の予定が直前に2名欠席となる。JR京都駅午前7時50分集合、8時丁度の新快速近江塩津行きに乗り、近江八幡駅で近江鉄道に乗り換える。

予定の8時42分発に乗り遅れ、9時12分発で市辺駅に9時23分到着し直ちに出發。万葉の森・船岡山を登り、一旦農道を歩き、10時15分岩戸山十三仏参道口で身支度を整える。参道は頂上まで急な石段がつづく。新西国八十八箇所霊場の石柱があり、道の両側には紅白の布が巻かれた岩や石仏が山頂まで祀られている。10時50分十三仏に着いた。聖徳太子が瓦屋寺を建てられたとき、裏山に金色に輝く岩を見付け、自らの爪で十三体の仏を刻まれたという。あたりは巨岩がひしめいているが十三

仏は見あたらない。数日前に降った雪が残る道を、慎重に登り降りして、11時30分小脇山山頂(373.4m)に。三等三角点がある今日のコースの最高峰で恒例の集合写真を撮り先へ進む。

12時5分箕作山(みつくり山)で昼食、2枚目の写真に納まる。ここからは北の展望がよいが金糞岳や伊吹山は靄の中。12時40分出發。途中瓦屋禅寺に立ち寄り、13時40分太郎坊山(赤神山)山頂に立つ。岩峰は神体山信仰と磐座信仰発祥の地と言われている。岩上からは薄く雪化粧した蒲生野が一望でき圧巻だ。瓦屋寺分岐まで引き返し太郎坊宮へ下り、巨岩の夫婦岩の間を抜け、本殿に参拝の後最後の記念写真を撮る。「夫婦岩を通して参拝する者は即座に病苦を除き所願成就するが、悪心ある者は岩に挟まれる」と言われている。740余段の階段を下り14時30分参道口に着いた。

太郎坊宮駅14時44分発の電車にわずかに間に合わず15時19分発で近江八幡駅へ、2分の待ち合わせで新快速播州赤穂行きに乗り換え16時12分京都駅に下車。平成29年の納山とした。(下川 博司 記)

ボウリングクラブ

堀場ボウリングクラブ12月例会成績

2017年最後の月例は山田昌美さんの3回目の優勝です。最高齢で尻上がりに良くなるスコアとはお見事です。今回は全員がプロ&コーチから個人アドバイスをもらいました。皆で次回に修正を目指します。お二人ともさすがのスコアです。



順位	名前	1G	2G	3G	計	HD	×3	Net	次HD
①	山田昌美	153	167	171	491	31	93	584	23
②	鳥島義則	143	150	155	448	35	105	553	32
③	峯田真弓	143	125	109	377	54	162	539	52
④	永田真寿夫	188	164	170	522	-3	-9	513	-1
⑤	毛利隆文	244	157	160	561	-22	-66	495	-19
⑥	田中光子	135	112	101	348	47	141	489	50
⑦	芦谷恭通	133	137	168	438	15	45	483	25
⑧	橋本由美子	156	167	135	458	3	9	467	20

カラオケクラブ

当クラブも、お陰様で初回同好会よりスタートし通算12回と恒例行事と定着してまいりました。12月例会は、23日クリスマスイブの日でもあり、参加者が少ないのではと危惧していましたが心配はハズレ何と初参加者も含め13名の参加となり大いに盛り上がりました。いつもの会場(紬)は、クリスマスグッズで部屋を飾って頂き、ママには感謝・感謝です。



カラオケは、常連の吉井さん、サザンの朝ドラのテーマ曲ポン、ポン、ポン♫、サプライズ参加の峰野さん、得意な演歌で熱唱。土肥さん、当

東京支部ゴルフクラブ

21期東京ゴルフクラブコンペを開催

東京ゴルフクラブは第2回コンペを2017年9月13日(水)栃木県の鷹ゴルフ倶楽部で開催しました。関東地区では今年も天候不順が続き、第2回コンペを7月に検討しましたが暑さが続いたため中止となりました。21期最後の9月は秋物と夏物を交互に着る天候で雨の日もありましたが、今日は最高の天気で最高の日と思っていましたが、水曜日は建設業界に加えて商店街も休日が多いということで、ゴルフ場も満杯で休日以上の込み合いということでした。今回より80歳を迎えられる草鹿さんにはシルバーティよりのプレーでスタートしました。1ホール毎に1打毎に待ち疲れ、気温上昇も加わり、ゴルフをやる気分ではなかったようです。コース内乗り入れカートをお願いしましたので少し和らぎました。午後は流れもだいぶ良くなり、皆さんINコースはスコアも良くなりました。お陰様でクラブバスには何とか間に合いました。

会歌唱力N01。石黒さん、初代御三家とくに西郷輝彦専門?(笑)。中村(勝)さん得意のシングル曲を披露。突然初参加の桐野さん、石原裕さんを初披露。女性では、美声で音感バグンの分部(浮村)さん。

特別参加では、医用の顧問松本さん、得意のパフォーマンスで笑い喝采!そして、更にサプライズは、元ホリバリアン森かれんさん(現在京都市議会議員)5か月のすみれちゃん同伴すみれちゃん超かわいい、やかましい部屋での爆睡で将来大物の予感。等々いつもの鯖寿司等食べながら3時間熱唱し、最後当会のテーマ曲「青春時代」で締めくくり散会となりました。次回は、2月24日(土)4時から「紬」にて開催致します。楽しい会ですので参加お待ちしております。(小川 柁幸 記)



競技は新ペリア方式で上限はPAR+3でDC, NPも加えて行いました。

優勝は横井さん(GROS 104、HC 27.6、NET 76.4)で賞品授与をロビーで行い終了しました。

参加者 草鹿悌二、横井廣秋、下坂利晴、谷口義晴 (敬称略)

(谷口 義晴 記)

ゴルフクラブ 京都

平成29年11月14日（火）第7回堀場製作所OB会OBGCコンペを、三重県伊賀市ジャパクラシックカントリークイーンコースにて、過去最多となる18名の参加で行いました。生憎当日は、雨が止むことなく降り続く悪コンディションの中で、各ホールのカップ位置がグリーンの高い位置に設定されていた事もありホールアウトに少々時間がかかった組もありましたが全員無事ホールアウトされました。（特に7番ホールでは、6パットもかかった方が居られたとか）今回は、雨でもあり十分な練習もできない状況でのスタートとなったことで、スタート前に、急遽毛利幹事から、

①1番ホールでのティーショットは、1回目失敗しても2回打てることのできるマリガン方式（下記※印参照）にする。

②OUT IN 各1回だけ、どこかの場面でタラレバ（やり直し）ができる。

③各ホール大たたきしても、ハンディキャップになるように、ダブルパーカットでなく無制限とする。

但し最多ハンディキャップは、40とする。として、飽くまで楽しく、だれにでも優勝チャンスがあるコンセプトでの、新しいルール説明があり全員了承の上スタートしました。競技終了後、写真撮影（今回雨の為、コンペルームでの撮影となりました）成績発表、表彰式を行いました。

今回優勝者は、初参加の小菅さん（NET 70.0）、

準優勝：米田さん、

3位：中村（勝）さん

5位：桐野さん

7位：永井

10位：小島さん（特別参加）

15位：橋本さん

BB：衣斐さん で各賞品をゲットされました。

更に今回は、参加者の企業オーナーの方々（4社）のご協力を頂き、クリスタル賞（桐野さん）・ステージ賞（毛利さん）・ゴビ賞（小菅さん）・内山賞（参加予定でしたが、腰治療の為欠席）の4特別賞を設け、更に更にジャパクラシックからの、支配人賞、プレー費無料賞を加え、参加者全員に豪華賞品が当たり、全員笑顔での解散となりました。

第8回の開催日は、平成30年5月15日（火）（場所後日連絡）で、幹事は、小菅さん米田さんで行います。多くのOBの方々の参加をお願い致します。

参加者：①小菅博之 ②米田篤司 ③中村勝美 ④倉原政治 ⑤桐野茂 ⑥三好則夫 ⑦永井博 ⑧早田善孝 ⑨佐々木一訓 ⑩小島加帆里 ⑪毛利隆文 ⑫鈴鹿周正 ⑬長沢克己 ⑭福嶋良助 ⑮橋本孝司 ⑯宇野久二男 ⑰衣斐寛之 ⑱山田毅（順位順）



※【マリガン方式とは】ミスター・マリガンは仕事が忙しくて、毎回仲間と約束したスタート時間ギリギリにやってくるため練習ができず、いつもファーストショットを失敗していました。そこで仲間たちは、マリガンがファーストショットを失敗しても無罰でもう一度チャンスを与えることにしたわけです。いつかファーストティの失敗を許すのは仲間の証のようになり、その行為をマリガンと呼ぶようになったわけです。（永井 博 記）

釣りクラブ

8月19日に下川、中村、調子の3名と堀場製作所の釣りクラブメンバーとのコラボで、東舞鶴港から出船し、丹後半島と冠島の中間点付近の漁礁にて半夜釣りを楽しみました。魚影の薄い剣先イカの釣果は今一つでしたが、大型の真鯨、真鯛、血鯛、連子鯛、鯖等多種の魚を釣り上げることができました。（調子 均 記）



OB会だより

－ 堀場OB会ホームページ紹介 －

堀場OB会のホームページは総会、幹事会、キャリア活動、クラブ活動をはじめ各種の行事案内、活動報告を掲載しています。より魅力あるホームページにするために会員からのご意見、ご提案をお寄せ下さい。

検索エンジンから「堀場OB」で検索し、「お気に入り」に追加ください。

◆ホームページアドレス

<http://horiba-ob.com>

◆堀場OB会メールアドレス

horiba.ob@gmail.com



－ 新入会員紹介 －

新入会された会員を紹介します。（敬称略）

第22期

尾崎 克好、米田 篤司

－ 古希になられた方々（敬称略） －

澤田喜行、三好則夫、浜井幹彦、野口進治、酒井俊英、村田敏幸、高田康光、横井廣秋、森山晶成、小林正義、宇野久二男、小川柁幸、大川浩美

－ 訃 報 －

稲村 董雄様が、また、HOR 執行役員 橘川 温様をご逝去されています。謹んでお悔やみ申し上げます。

－ 年間行事計画について－

年間OB会行事についてはホームページに「年間行事予定表」を公開していますが、会員の皆様に参加いただく行事を紹介します。

- ◎ 鴨川を美しくする会
 - ・ 鴨川クリーンハイク（年間5～6回の予定）
 - ・ 鴨川茶店（4月予定）
 - ・ 鴨川納涼（8月予定）
- ◎ 工房学習支援（年間：7～8回の予定）
- ◎ 研修旅行（2月予定）
- ◎ 春の懇親会（4月予定）

- ◎ 夏の懇親会（8月予定）

◎ レジャー例会（4月、6月、11月の予定）
開催日が決定した行事についてはホームページまたはメールにて紹介させていただきますので参加いただくようお願い致します。行事内容の詳細は、代表幹事・幹事にお問合せ下さい。

◆代表幹事 酒井 俊英

E-Mail : sakai.727@yahoo.co.jp

TEL 090-5965-0389

－ 会報・ホームページへの寄稿要領について －

会報への寄稿文、ホームページへのクラブ動、ボランティア活動等の諸活動報告をされる場合に長文では取扱いに苦慮する場合があります。

このため、文字数の上限を下記の通り取決めさせていただきますので協力いただくよう宜しくお願い致します。

◆会報へ寄稿文

1500文字以内

(写真を1枚～2枚添付して下さい)

◆ホームページへの活動報告

800文字以内

(写真を1枚～2枚添付して下さい)

会報、ホームページ共に文字だけでは読者に伝える力が弱く、写真によって情景を読者に印象付けるものであり、必ず写真を添付いただくようお願い致します。

活動報告は行事終了後、直ちに報告いただくようお願いいたします。

◆寄稿文の募集

会報に掲載する寄稿文を募集しています。

■OB会入会手続きの手順

- ①「入会登録書」「入会のお誘い」をダウンロードする。
- ②「入会登録書」に必要事項を記入し、メール添付または郵送にてOB会幹事に提出する。
- ③幹事会審査の後、入会金、年会費納入の振込用紙、OB会資料を入会希望者宛に送付する。
- ④入会希望者は振込用紙にて郵便局より振込。
(手続き完了)

【OB会員の皆様へ】

皆様の周辺で、未加入の退職者がおられましたら、入会の勧誘をぜひお願いします。
堀場OBホームページトップページの「OB会入

テーマは特に決めていません。

＜旅行の感想＞、＜地域での活動＞、＜地域の名所・旧跡の紹介＞、＜地域の祭り＞など身近なテーマを気軽に寄稿いただきますようお願い致します。

投稿者にはささやかながら「図書カード」

(1,000円分)を進呈させていただきます。

会報は毎年1月と7月に発行しますので12月末、6月末を目途に提出いただくようお願いいたします。

◆著作権について

- ・書籍から引用の時は出典を明記して下さい。
(発行元、書籍名、著者)
- ・新聞からの文面、写真の引用は新聞社の承認を必ず得て下さい。

◆送付先

会報事務局編集責任者 伊藤 哲

メールアドレス horiba.ob@gmail.com

〒601-8510京都市南区吉祥院宮の東町2

堀場製作所OB会 会報事務局宛

会手続き」のアイコンから入会申込書をダウンロードし、「入会のお誘い」に記載されている手順で手続きを行うよう積極的に案内をお願い致します。解らない場合には、代表幹事・幹事にお問い合わせ下さい。

代表幹事 酒井 俊英

副代表幹事 船越 健

幹事 森山 晶成

中村 十規人

小川 柁幸

沢本 昌順

笠川 重美

東京支部幹事 尾崎 克好

会計幹事 伊藤 哲

会計監査 湯浅 一郎

*東京支部幹事 谷口義晴さん長い間ご苦勞様でした。

2017年下半年会社ニュースピックアップ

★HORIBA MIRA, Ltd. に先進的排ガス試験設備を開設 (7月)

グループ会社であるHORIBA MIRA, Ltd. (以下、ホリバMIRA社)は、英国ナニートン市にある同社のエンジニアリング施設内に、先進的排ガス試験設備 Advanced Emissions Test Centre (以下、AETC) を開設。従来の排ガス規制に加え、路上走行中での排ガス測定試験を義務付けた新しい規制 (Real Driving Emissions、以下 RDE) の導入にも対応。分析・計測技術と、ホリバMIRA社のエンジニアリングビジネスの連携を強化し、さらなる規制強化や自動車開発に対応し、今後に向けてビジネスの拡大が加速されます。



★JASIS 2017が幕張メッセで開催 (9月)

HORIBAブースでは「Your Partner in Science」をテーマに、製品・アプリケーション・エンジニアリング力を総合的に紹介されました。200年の歴史を有するJobin Yvon社との統合から20年。世界をリードするHORIBAの分光コア技術と、それを活用した分析装置・アプリケーション事例が数多く紹介されていました。

また、自動運転・運転支援システム向け車載ICの需要効果もあり、成長著しい半導体の製造プロセス関連製品をはじめ、電動化や軽量化に向けた材料開発に役立つ分析装置から、車両開発用評価装置、環境評価装置までトータルサポートできるHORIBAの幅広いソリューションも紹介されていました。



★水/液体計測事業が堀場アドバンステクノへ統合 (12月)

2017年12月末日をもって創業製品のpH計はじめ、水/液体計測事業は堀場アドバンステクノに統合されました。2018年からはラボからプロセス、環境計測までの幅広い製品ラインアップと、統合によりさらに強化された、あらゆる分野における専用アプリケーションや総合ソリューションが提案されます。



編集後記

2018年は、明治150年の節目に当たります。幕末の戦災により市内の家の多くが消失し、人口も2/3に激減したとのこと。鴨川河川敷などに多くの仮設の住いができ、復興には数年かかったといわれています。そんな中から、琵琶湖疎水事業や

発電事業、市電を走らせるなど多くの市民の手で復興を成し遂げました。今年の大河ドラマは「西郷どん」。教育を大切にし、産業を発展させるなど展開が楽しみです。今冬はことのほか、寒さが厳しいようです。ご自愛ください。(編集者代表)

* 堀場製作所OB会 *
* 〒601-8510 *
* 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 *
* 株式会社 堀場製作所内 OB会室 *
* URL <http://horiba-ob.com> *
